

事業所名 なないろそらの家Kahua

支援プログラム

作成日

2025年 2月 1日

法人理念	「自分らしく地域で生きていくこと」を目標に、利用者及び関係者、それらを取り巻く地域の人々に対して、共に理解し安心できる「地域共生社会」を目指し、1人1人の尊厳を守り、個別ニーズを尊重し、人間力の向上とノーマライゼーションの普及と支援を行う。		
支援方針	生後6か月からの早期療育による切れ目のない支援により、就学からその後まで保護者、関係機関、地域と連携しサポートできる関係をつくります。関係づくりができる安心・安全な人、環境のなかで人権を尊重した発達支援を行います。		
営業時間	9時30分～17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	保護者や園、学校からの申し送りから来所時のバイタルチェック・身体全体の状態観察をしその日の体調に合わせた活動を行います。子どもたちの発するサイン（声や表情など）に気付けるようきめ細かい観察をしながら、子どもたちに適したスキルの獲得につなげていきます。必要な医療的ケアの実施を行い、心身ともにリラックスできる環境づくりを行います。	
	運動・感覚	姿勢調整や姿勢保持等を行い活動しやすいようにとり組みます。関節の拘縮や変形の予防、可動域の維持等、感覚の発達を促す活動、遊びを提供します。様々な活動を通じ運動機能や協応動作機能の向上・発達を促していきます。	
	認知・行動	1人1人の発達段階に応じた活動や遊びを通して感覚（触覚・固有受容覚・平衡感覚・視覚・聴覚・味覚・嗅覚）を十分に活用し、物や空間、形、重さ、数、色の違い等、認知や行動につながる支援をします。	
	言語 コミュニケーション	身振り・声・指さし・サイン等表情の変化や目線、動作などの意思疎通の手段を拡げ、他者に自分の気持ちが伝わる経験を重ね、伝わる喜びが感じられる機会を増やしていきます。	
	人間関係 社会性	他の利用児童と一緒に関わる遊びや製作活動など集団活動のなかで、共同あそびの経験を積み、一緒に行う、順番を待つ、応援するなど徐々に社会性の発達を支援します。	
家族支援	連絡ツールや対面で療育中の様子や健康状態をお伝えすることで安心して利用できるように援助します。随時、発達支援について相談支援を行います。	移行支援	他の利用施設、保健師、相談員、関係機関と連携し、支援内容や支援方法について情報を共有します。就学や卒業に向けての相談やサポートを行います。
地域支援・地域連携	外出などを通し近隣の施設や地域とのつながりを持ち、地域が参加できるイベント等を実施します。	職員の質の向上	社内研修や外部研修の参加、事例検討会など職員の知識・スキルの向上に努めます。
主な行事等	月ごとの行事や製作（お正月遊び、節分、ひなまつり、お花見、子どもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス）お誕生日会、避難訓練、遠足などを行います。		